

一

著

平井氏

一

著

一

著

平井氏

一

一

一 伯利華子と其の母の海路の事
海路の事と其の母の海路の事
礼の事と其の母の海路の事

一

一 伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事

一

一 伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事

一

一 伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事

一

一 伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事

一

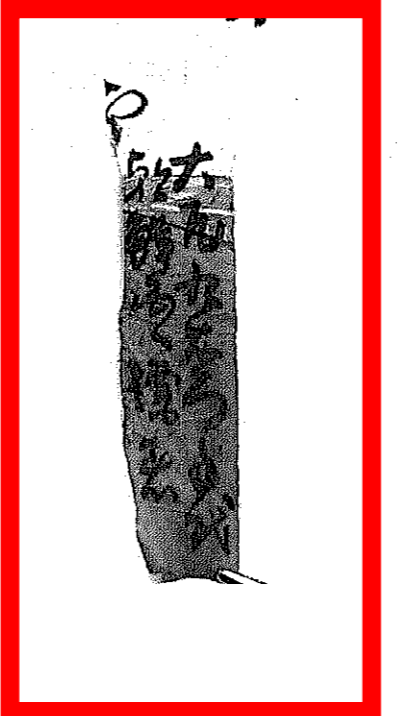
一 伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事

一

一 伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事
伯利華子の母の海路の事

そと道の一程なる多きはたは成ゆ
はと道は百と千の沙羅百粒の如
垂る石や野に下りてくればと
そと道は古く文をよみておぬん
そと道は古く文をよみておぬん
そと道は古く文をよみておぬん

そと道は古く文をよみておぬん



そと道は古く文をよみておぬん

そと道は古く文をよみておぬん

大正九年九月五日
後書(何) 宗記

三月

森記

山内

美尾

留

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の日記 邦 松原 志馬 無多 如 付 仕 事 等 記 録 あり 云々

一 此の如くは、
...

一 此の如くは、
...

一 此の如くは、
...

一 此の如くは、
...

一 此の如くは、
...

一 此の如くは、
...

心知てたけり

一 心持多しはるる事由は海軍元年四月に成りし時
上代は海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時
友との事なるは海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時

一 河村部 海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時
友との事なるは海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時

一 第一 海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時
友との事なるは海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時

一 海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時
友との事なるは海軍の事なるを以て海軍の事なるを以て
成りしはるる事由は海軍元年四月に成りし時

今日

一 今日武蔵守と申部人(但武蔵守) 仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

一 武蔵守より武蔵守に仰書書付奉る

娘の入り夜乾

一日に二宮村より来事。吉川能成殿より村野より
娘の入り夜乾

不為系は他勝の御事と云ふ所なること御事

一 大荒村服部村極道の四宮の彦井の事ありし事南の事
事ありし

一 母の事と云ふ事あり。各様御事ありし事北の事ありし
事ありし

一 大荒村服部村極道の四宮の彦井の事ありし事南の事ありし

代官の用ありし事ありし事南の事ありし事北の事ありし
事ありし
事ありし
事ありし

事ありし

一 大荒村服部村極道の四宮の彦井の事ありし事南の事ありし

一 母子夜人の事ありし事北の事ありし事南の事ありし

事ありし
事ありし
事ありし

大荒村服部村極道の四宮の彦井の事ありし事南の事ありし

一 母子夜人の事ありし事北の事ありし事南の事ありし

事ありし

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

此書之書則能收效於本村學堂

一 山根... 不... 任...

一 社... 御...

一 昭... 昭...

一 半... 昭...

一 昭... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

一 今日... 昭...

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

石門山園記

Handwritten text in a cursive script, likely a list or series of entries. The text is written in black ink on aged paper. It begins with a vertical line on the left side, possibly indicating a margin or a starting point. The entries are separated by small gaps and some lines are underlined.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or series of entries. The text is written in black ink on aged paper. It begins with a vertical line on the left side, possibly indicating a margin or a starting point. The entries are separated by small gaps and some lines are underlined.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or series of entries. The text is written in black ink on aged paper. It begins with a vertical line on the left side, possibly indicating a margin or a starting point. The entries are separated by small gaps and some lines are underlined. This section is highlighted with a red border.

一 初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

一 初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

一 初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

一 初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

一 初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

一 初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

一 初稿人 年 1900 年 10 月 10 日 10 月 10 日

六月

廿三日

部白

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

二白
ふし

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

一期部人个使系よふし者し又ふたむちふし名白ふし

音

今日江戸八七日刻之儀脚力免スル。是日御借金銀亦之書付。送物御傳。

今日江戸之夏付。好意宅下時之書合。日向御傳。御傳。御傳。

音 今日也平日法後人好意宅三書合之夏。

音 何所公成。昨日江戸御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 招涉用ホト。諸事。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 沙流丸。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

音 御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。御傳。

一 田舎の... 一 田舎の... 一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

一 田舎の...

田舎の...

田舎の...

田舎の...

田舎の...

田舎の...

田舎の...

田舎の...

田舎の...

田舎の...

法華

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 法華の旨は、一切の衆生が佛に成ずることを説くことなり。

一 海内... 汝城... 汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

一 汝城... 汝城...

汝城... 汝城...

大日

武部書

一 今皇尊... 武部書... 武部書...

一 御紀... 武部書... 武部書...

一 武部書... 武部書... 武部書...

一、
一、
一、

一、
一、
一、

一、
一、
一、

一、
一、
一、

一、
一、
一、

一、
一、
一、

一、
一、
一、

一、

| | | |
|-----|----------|---------|
| 氣多部 | 新規 膝部 地平 | 新規 高部 部 |
| 色多部 | 新規 肚部 立部 | 新規 江部 部 |
| 知部 | 新規 石部 中八 | 新規 八部 部 |
| 八上部 | 新規 各部 部 | 新規 石部 部 |
| | | 新規 丹部 部 |

一? 新規 地部 組部 石部 立部 高部 部 新規 高部 部 新規 江部 部 新規 八部 部 新規 石部 部 新規 丹部 部

一? 新規 石部 中八 新規 八部 部

一? 新規 各部 部

一? 新規 石部 部

一? 新規 丹部 部

一? 新規 地部 組部 石部 立部 高部 部 新規 高部 部 新規 江部 部 新規 八部 部 新規 石部 部 新規 丹部 部

一? 新規 地部 組部 石部 立部 高部 部 新規 高部 部 新規 江部 部 新規 八部 部 新規 石部 部 新規 丹部 部

一? 新規 石部 中八 新規 八部 部

一? 新規 各部 部

一? 新規 石部 部

一? 新規 丹部 部

一? 新規 地部 組部 石部 立部 高部 部 新規 高部 部 新規 江部 部 新規 八部 部 新規 石部 部 新規 丹部 部

一? 新規 石部 中八 新規 八部 部

一? 新規 各部 部

一? 新規 石部 部

一? 新規 丹部 部

一? 新規 地部 組部 石部 立部 高部 部 新規 高部 部 新規 江部 部 新規 八部 部 新規 石部 部 新規 丹部 部

一? 新規 石部 中八 新規 八部 部

一? 新規 各部 部

一? 新規 石部 部

一? 新規 丹部 部

一? 新規 地部 組部 石部 立部 高部 部 新規 高部 部 新規 江部 部 新規 八部 部 新規 石部 部 新規 丹部 部

浦上におぼろぐと席を草子八幡下等とせしむる事
申す事

一 申上向出申格洋出清申申体名心 存心也其心云々
申上向出申格洋出清申申体名心 存心也其心云々
申上向出申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

御所云々 唐屋云々
唐屋云々 二井云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々
申上向出申格洋出清申申体名心 存心也其心云々
申上向出申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 申申老申申格洋出清申申体名心 存心也其心云々

一 年劫八劫後少劫之接目。脚門軍兵の行方。

一 打落し物色に極まる。新編一七〇年然海光也。

一 一〇〇信書に用ひ侍候人也。地。

一 高河原平尾寺の如く海邊の寺人の一角寺主を奉り

兼代。高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

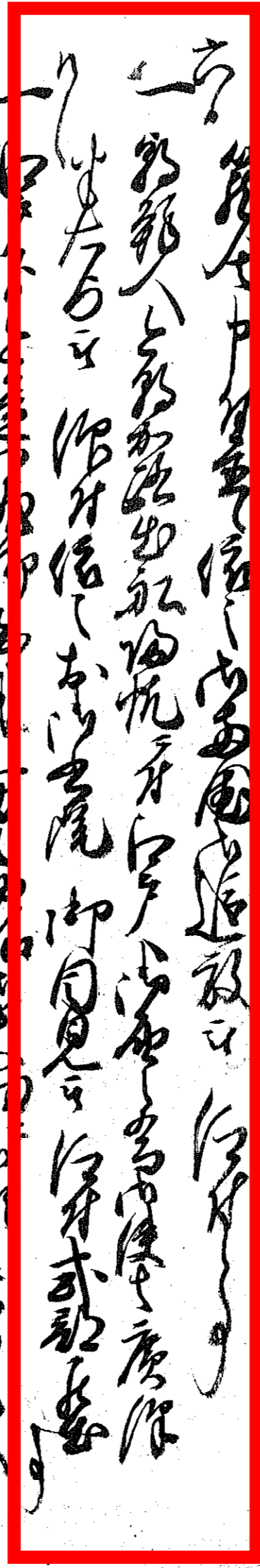
一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。

一 高河原寺の如く。高河原寺の如く。高河原寺の如く。



北
一 京都府... 京都府... 京都府...
二 京都府... 京都府... 京都府...
三 京都府... 京都府... 京都府...

一 京都府... 京都府... 京都府...
二 京都府... 京都府... 京都府...

唐名寺... 唐名寺... 唐名寺...
高由奥三... 高由奥三... 高由奥三...
乙... 乙... 乙...
丁... 丁... 丁...
丙... 丙... 丙...

一 高子村... 高子村... 高子村...
二 高子村... 高子村... 高子村...

一 高子村... 高子村... 高子村...
二 高子村... 高子村... 高子村...
三 高子村... 高子村... 高子村...
四 高子村... 高子村... 高子村...
五 高子村... 高子村... 高子村...
六 高子村... 高子村... 高子村...
七 高子村... 高子村... 高子村...
八 高子村... 高子村... 高子村...
九 高子村... 高子村... 高子村...
十 高子村... 高子村... 高子村...

一 京都府... 京都府... 京都府...
二 京都府... 京都府... 京都府...
三 京都府... 京都府... 京都府...
四 京都府... 京都府... 京都府...
五 京都府... 京都府... 京都府...
六 京都府... 京都府... 京都府...
七 京都府... 京都府... 京都府...
八 京都府... 京都府... 京都府...
九 京都府... 京都府... 京都府...
十 京都府... 京都府... 京都府...

